

## 令和 6 年度 クリプトスポリジウム・ジアルジア検査業務 特記仕様書

### 第1条（基本事項）

#### 1 目的

本業務委託は、水質検査を目的とする。

#### 2 適用範囲

本特記仕様書は、弘前市上下水道事業弘前市長(以下「発注者」という。)が委託する「令和 6 年度 クリプトスポリジウム・ジアルジア検査業務」に関し、発注者及び受注者が遵守すべき事項を示すものである。

#### 3 監督員

発注者は、本業務の実施にあたり監督員を置くものとする。監督員は、本特記仕様書に定めるもののほか、必要に応じ業務の履行に立ち会い、受注者に対し指示等を行うことができる。

### 第2条（一般事項）

#### 1 法令等の遵守

受注者は、業務の遂行にあたり関係する法令等について、これを遵守する。

#### 2 機密の保持

受注者は、業務の遂行上知り得た事項を第三者に漏らしてはならない。

#### 3 再委託の禁止

原則として、水質検査を受注した検査機関においては、自ら水質検査を実施する。

#### 4 手続き等

受注者は、業務の遂行上必要な手続き等は、受注者の負担で行う。

### 第3条（受注後の提出書類等）

受注者は、契約締結後速やかに別表に示す書類を発注者に提出するものとする。

### 第4条（水質検査等）

#### 1 水質検査

##### ア 検査方法

検査方法は、「水道における指標菌及びクリプトスポリジウム等の検査方法」(厚生労働省健康局水道課長通知 平成 19 年 3 月 30 日付 健水発第 0330006 号通知(直近改正を使用))により行う。

##### イ 検査項目及び検査頻度

別紙 令和 6 年度クリプトスポリジウム・ジアルジア検査業務検査予定表のとおりとする。

#### ウ 試料容器の準備

受注者は、別紙 令和 6 年度クリプトスポリジウム・ジアルジア検査業務検査予定表の検査項目に対し、依頼検体の採水地点ごとに必要な採水容器を用意する。採水容器の洗浄については、受注者の責任において充分に行うものとする。採水容器は、採水日前日までに受注者へ引き渡すものとする。

#### エ 汚染の防止

試料の分析において、水道水に供される水、水源の水及び飲用に供する井戸水以外の試料と前処理を含む同時分析を行わないものとする。

#### オ 試料の引き渡し

検査試料は原則として採水当日、樋の口浄水場において引き渡すものとする。

#### カ 試料の運搬及び検査の開始

検査機関までは、冷暗保存の上速やかに運搬し、第4条1-アの方法で定められた保存期間内に検査を行うものとする。

#### キ 異常な検査結果

水質検査結果が法令等に定められた値を超過したときは、受注者は速やかに監督員へ連絡するものとする。

#### ク 臨時の水質検査

発注者は必要に応じて、受注者へ臨時の水質検査を委託することができる。この時、受注者は委託項目、検体数に応じて業務委託料を請求できる。業務委託料は発注者、受注者協議のうえ定めるものとする。

#### ケ 報告書、検査結果の根拠となる書類の提出

報告書及び検査結果の根拠となる書類(別表に示す)は、試料の引き渡しから 30 日以内(土曜日、日曜日、祝日を含む。)に監督員に提出するものとする。

#### コ 業務委託料の支払い

業務委託料の支払いは、報告書及び検査結果の根拠となる書類の確認後、支払うものとする。

#### サ 検査結果の根拠となる書類の保存等

検査結果の根拠となる書類は、契約終了日から 5 年間保存するものとする。ただし、その期間の短縮について発注者の指示又は了解があった場合を除く。

### 2 検査結果の信頼性確保

受注者は、次の各項目に留意して検査結果の信頼性確保に努め、また記録するものとする。また、契約締結後、その記録を監督員の要請に応じて提出するものとする。

#### ア 検査体制の整備

水質検査結果は、検査責任者等によるチェックを行い、記録する。

#### イ 作業記録

- 1) 受注者は、標準作業書に沿った記録を行う。
- 2) 受注者は、日々実施した業務を作業日報として記録する。

#### ウ 機器の整備

受注者は、分析に使用する器具、機械及び装置について、その使用に支障がないように整備し、これを記録する。また、常に適正な分析値が得られるよう、機器の自主点検を徹底するとともに、必要な定期点検を遅滞なく受け、これを記録する。

#### エ 外部精度管理の実施

外部精度管理を実施した時は、発注者へ結果書の写しを速やかに提出するものとする。

#### オ 検査試料の保存及び廃棄

検査試料の保存期間は、その期間の短縮について監督員の指示又は了解があった場合を除き、試料の採水日から1か月間とし、廃棄日を記録する。保存期間終了後の検査試料は、関係法令を遵守して受注者が廃棄する。

#### カ 受注者への立入検査

上記ア～オの事項及び設備の状況等について確認するため、発注者（発注者から委嘱を受けた者を含む）は、随時に受注者への立入検査を実施できる。

### 3 安全管理

- ア 受注者は、本業務委託に係る事故の防止と安全確保のための必要な処置を講じる。
- イ 本業務委託施行中に事故が発生したときは、直ちに業務を中断して応急処置を講じるとともに、その拡大防止に努め、事故の原因、経過及び被害内容を監督員に報告する。

### 4 その他

#### ア 打合せ

契約締結後、受注者は速やかに監督員と打合せを行う。

#### イ 委託契約書の保存期間

本業務委託の契約書は、水道法施行規則第15条第8項第2号の定めにより、契約終了日から5年間保存するものとする。

#### ウ 資料の提供

本業務委託に必要な資料は貸与する。受注者は資料が外部に漏洩しないよう管理し、作業完了後速やかに発注者に返却する。また、作業の便宜上、複写した場合は作業終了後に速やかに処分する。

## 第5条（業務委託期間）

本業務委託期間は、令和7年3月31日までとする。

#### 第6条（環境配慮）

受注者は発注者が実施する環境配慮に係る取り組みへの要請に対して、可能な限りこれに協力すること。

#### 第7条（暴力団又は暴力団関係者による不当介入に対する通報・報告義務）

受注者は、受注者及び下請負人に対して暴力団又は暴力団関係者による不当介入があった場合は、警察及び発注者へ通報・報告しなければならない。また、警察の捜査上必要な協力を行うものとする。

#### 第8条（情報セキュリティ）

受注者は、情報セキュリティの重要性について共通の認識を持つとともに、業務の遂行に当たって「弘前市情報セキュリティポリシー」を遵守すること。

#### 第9条（その他）

この特記仕様書に定めのない事項又は疑義が生じた場合、発注者と受注者の協議によって、これを決定する。

別表 提出書類一覧

| 名 称             | 提 出 期 日                              | 備 考   |
|-----------------|--------------------------------------|---|
| 検査実施標準作業書       | 契約締結後速やかに                            | 直近の文書   |
| 試料取扱標準作業書       | 契約締結後速やかに                            | 直近の文書   |
| 水質検査試料の運搬に関する書類 | 契約締結後速やかに                            | 試料の受け渡し場所と水質検査を行う事業所との間の、試料の運搬経路・方法・所要時間を説明したもの               |
| 報告書             | 試料の引き渡しから 30 日以内<br>（土曜日、日曜日、祝日を含む。） | 検査結果及び検査方法を記載   |
| 検査結果の根拠となる書類の写し | 試料の引き渡しから 30 日以内<br>（土曜日、日曜日、祝日を含む。） | ・分析年月日時及び検査員氏名が記載された書類<br>・使用した検出法における、検出判定の根拠（計算過程等）が記載された書類 |